

【Mallirm】マリムユニット 標準施工手順書

1 はじめに

2023年04月01日

・梱包内容

- ①マリムユニット(本体)
- ②施工手順書及び注意事項書(本書)

・お客様にご用意いただくもの(梱包内容には含まれておりません)

下地が木造の場合 : SUS サラ木ねじ等 呼び径 3.5-L25程度

下地が鉄骨造の場合：SUS 特サラ タッピングねじ(ドリルねじ)等 呼び径 4-L20程度

※ねじの使用本数は施工手順書3-2<表3>をご参照ください。

下地がRC造や鉄骨造の場合は溶接アンカーが必要になります。(施工手順書4-1,4-2参照)

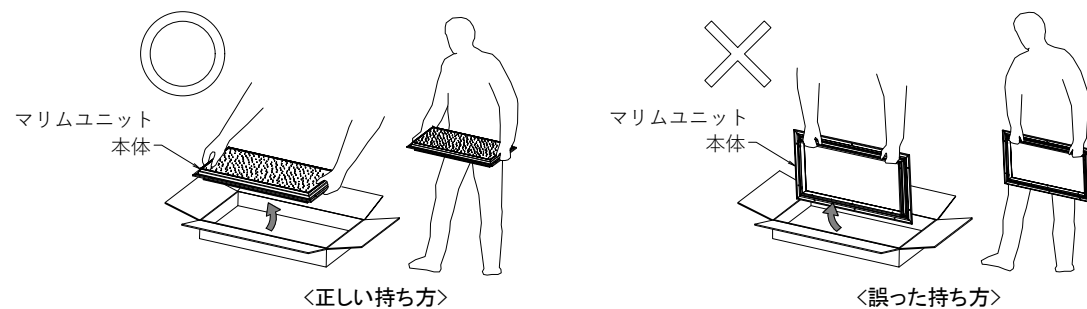
設置の際に隙間ができる場合はライナーが必要になることがあります。(施工手順書3-3,4-3参照)

その他、施工手順書をご覧ください。

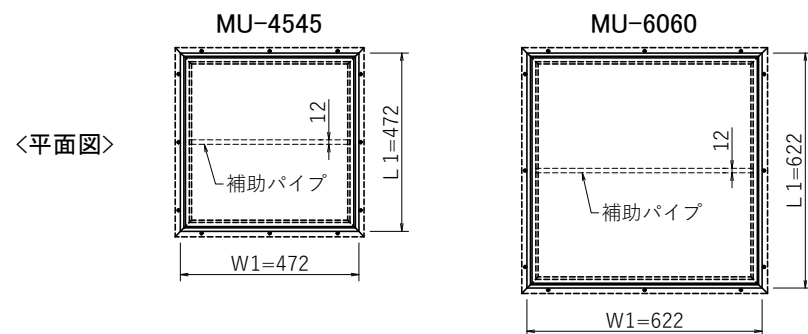
・梱包から取り出すにあたっての注意事項

箱から取り出す際や運ぶ際、また施工の際には、必ず下図のように両手で水平に持ってください。水平でない状態にされますと、ガラスが外れケガや破損の原因になります。

また、製品の分解や改造はしないでください。製品の強度が失われ破損の原因になります。



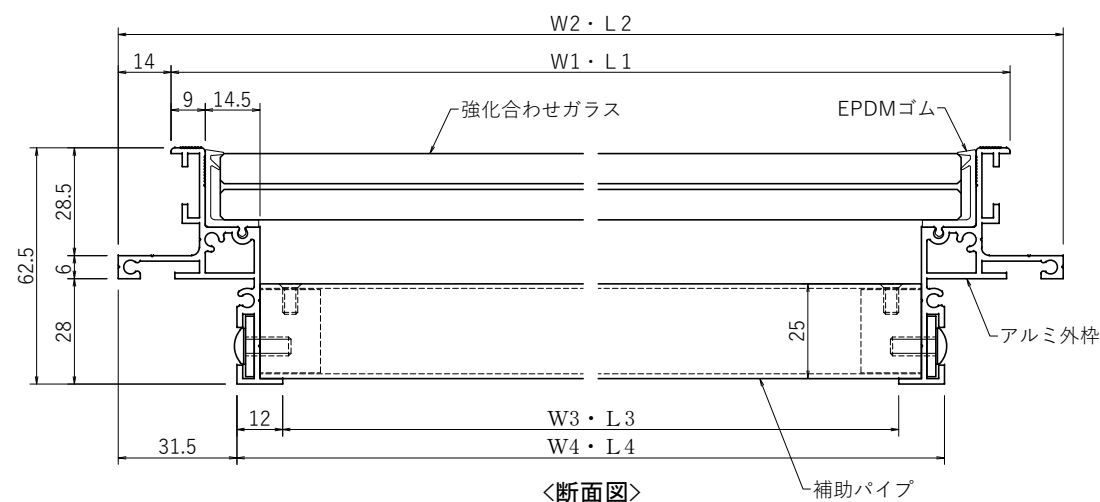
2 マリムユニット規格サイズ寸法表



<表1>

品番	W1	W2	W3	W4	L 1	L 2	L 3	L 4
MU-4545	472	500	413	437	472	500	413	437
MU-6060	622	650	563	587	622	650	563	587

(单位: mm)



3-1	下地の製作(木造の場合)
-----	--------------

- ・マリムユニット規格サイズ寸法表<表1>を参照し、下図のように根太を製作します。
- ・マリムユニットの下地材に、腐り・ねじれ・損傷などがある場合は、製品の破損・落下のおそれがありますので使用しないでください。

<表2>

(单位: mm)

品番	W	L
MU-4545	440	440
MU-6060	590	590

根太の内法寸法表(クリアランス3mm)

(注1)アルミ外枠を載せる根太の上端は、床仕上げ面から33mm下げてください。

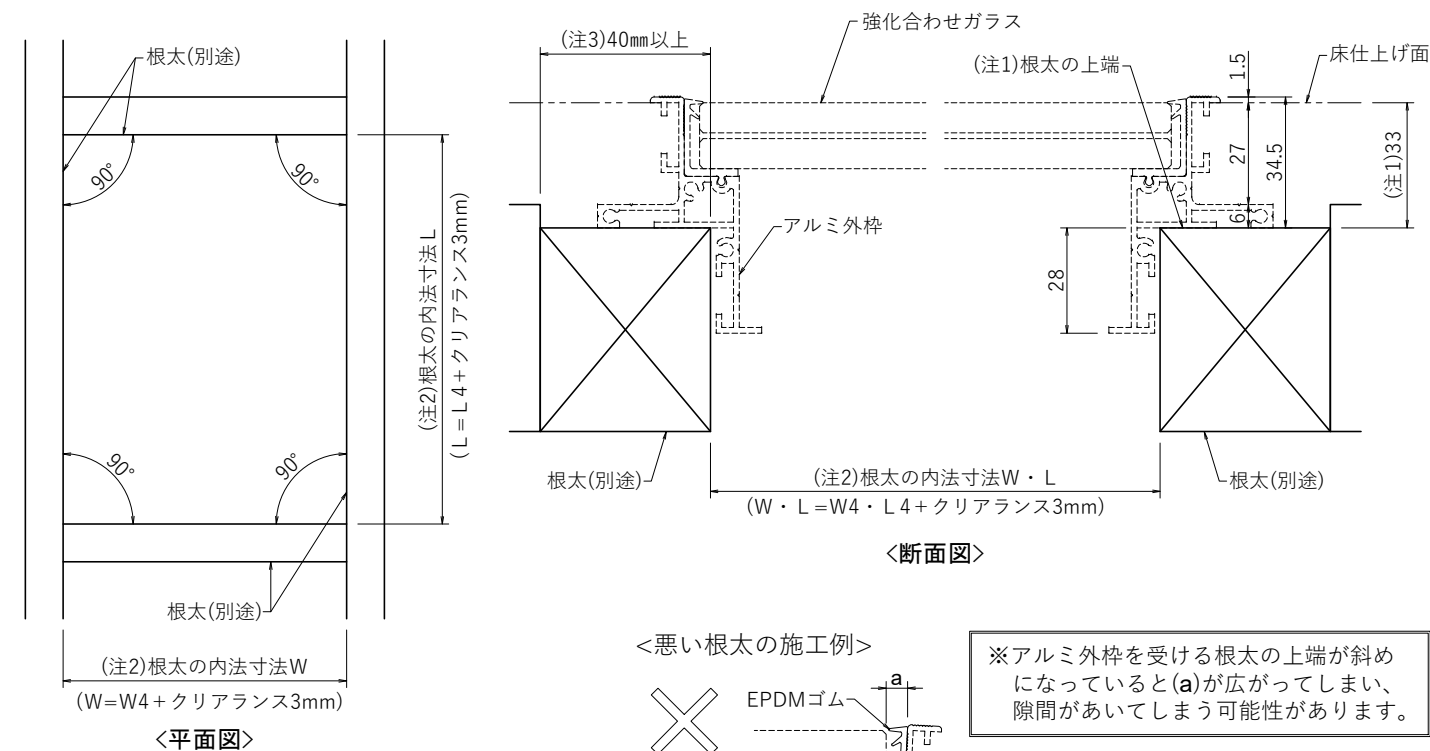
(注2)アルミ外枠を載せる根太の内法寸法(W・L)は、<表1>のW4及びL4の寸法より

1mm～3mmのクリアランスを確保してください。

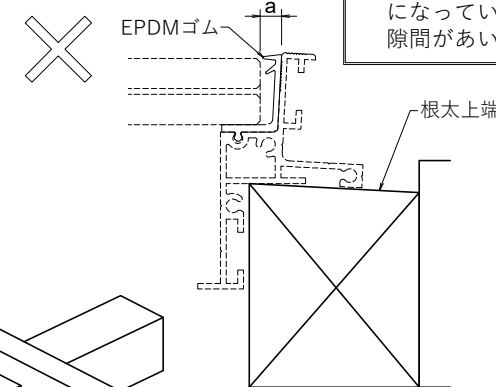
クリアランスを3mm確保する場合の根太の内法寸法(W・L)は、＜表2＞の寸法を参考にしてください。

(注3)アルミ外枠を載せる根太の巾は、40mm以上確保し使用してください。

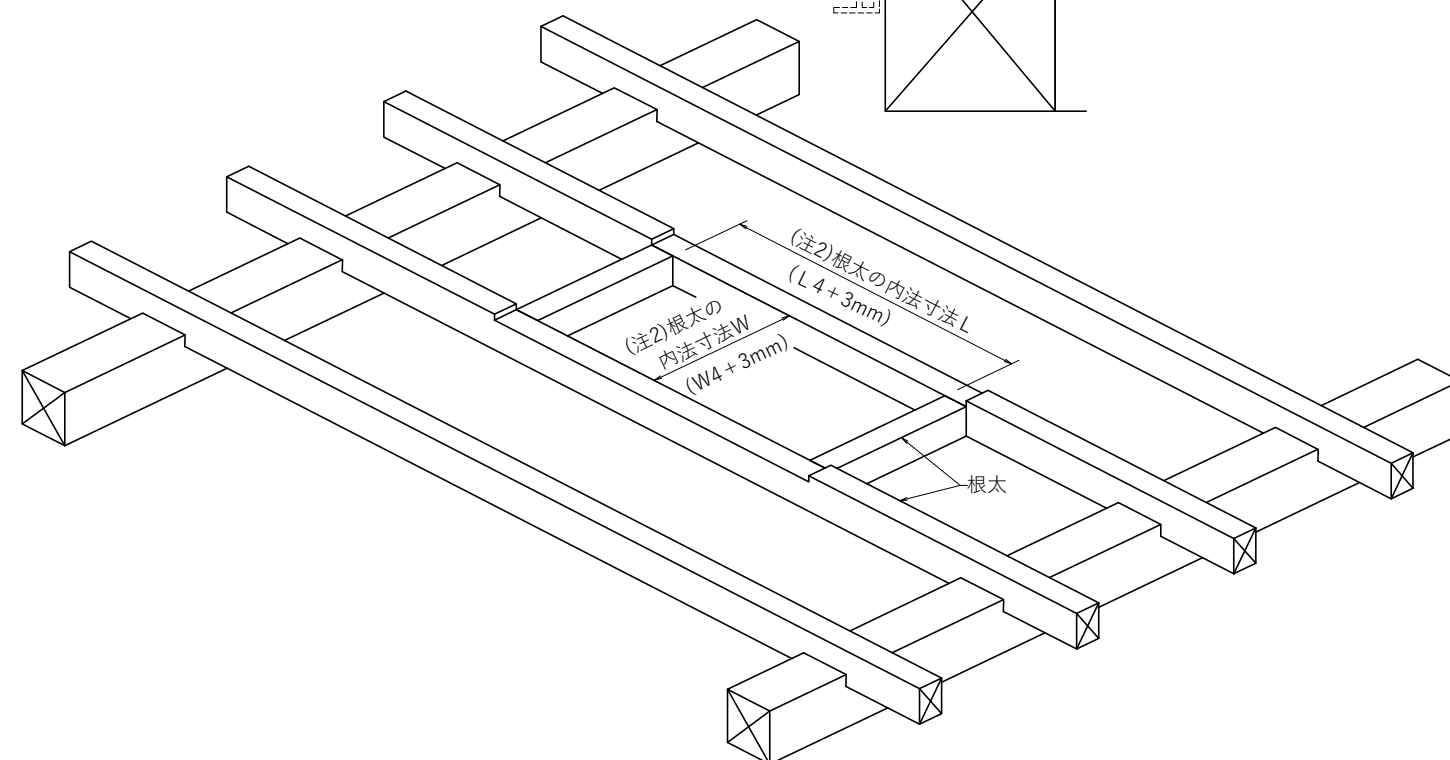
(注4)アルミ外枠を載せる根太は、倒壊・落下のないよう十分強度のある高さ・巾を確保し、確実に緊結してください。



<悪い根太の施工例>



※アルミ外枠を受ける根太の上端が斜めになっていると(a)が広がってしまい、隙間があいてしまう可能性があります。

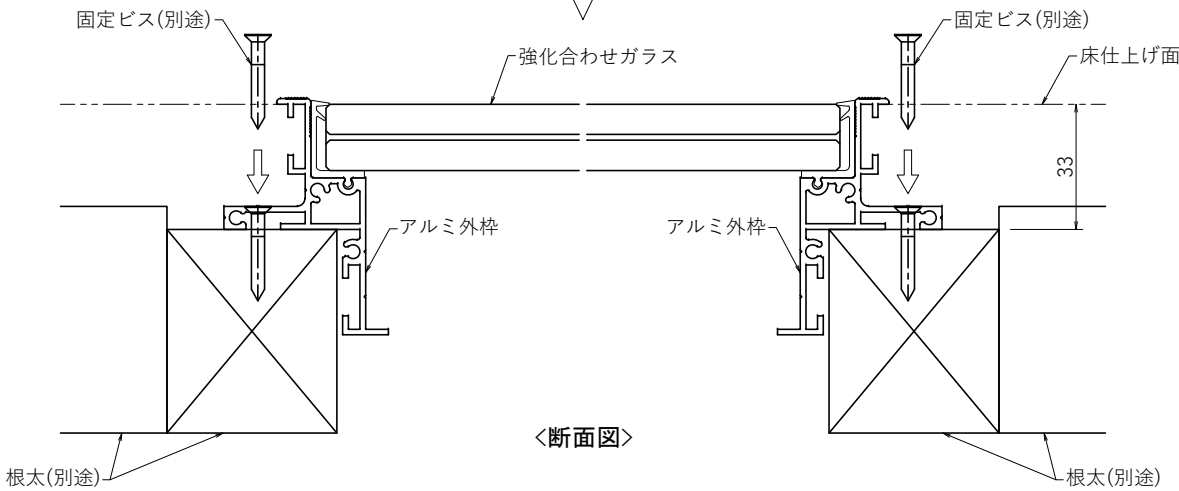
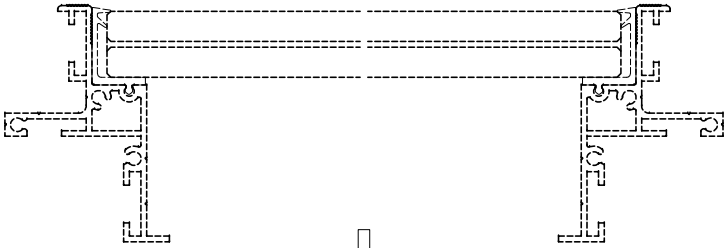
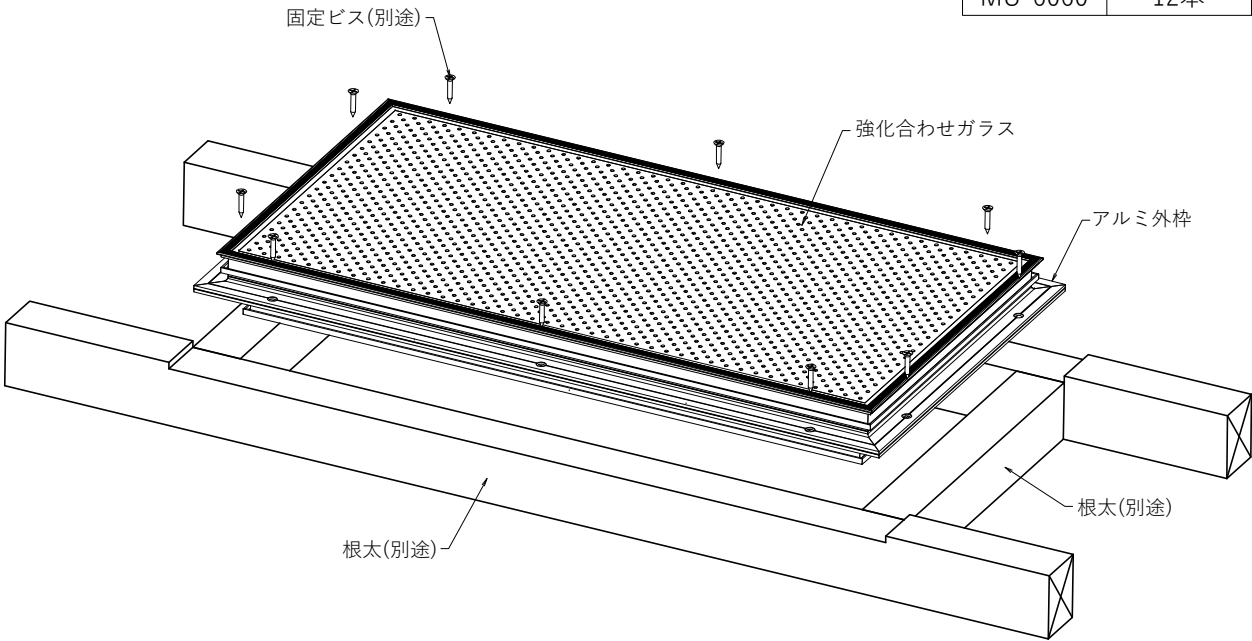


3-2 マリムユニットの固定(木造の場合)

- ・マリムユニットを下図のように、根太の上に水平に設置します。
※設置する際に、無理に力を加えると破損の原因になりますのでご注意ください。
- ・マリムユニットにずれ・浮き上がりなどが無いことを確認し固定位置を決定してください。
また、確実に根太の上に載っており、水平であることを確認してください。
※設置位置が正確でないと破損・落下の恐れがありますので注意してください。
- ・アルミ外枠と根太を固定ビス(別途)で固定します。
※ねじの使用本数は<表3>をご参照ください。
- ・固定ビス(別途)の本数をすべて使用し、アルミ外枠を固定してください。
※強化合わせガラスとアルミ外枠は分解しないでください。

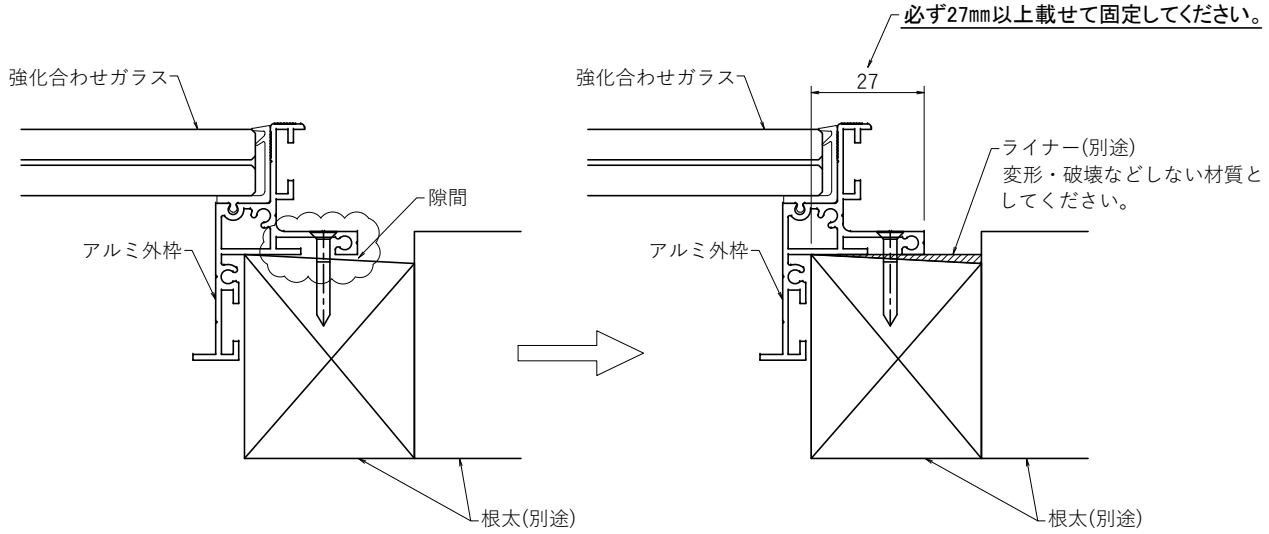
<表3>

品番	固定ビス
MU-4545	12本
MU-6060	12本



3-3 マリムユニット固定後の確認事項(木造の場合)

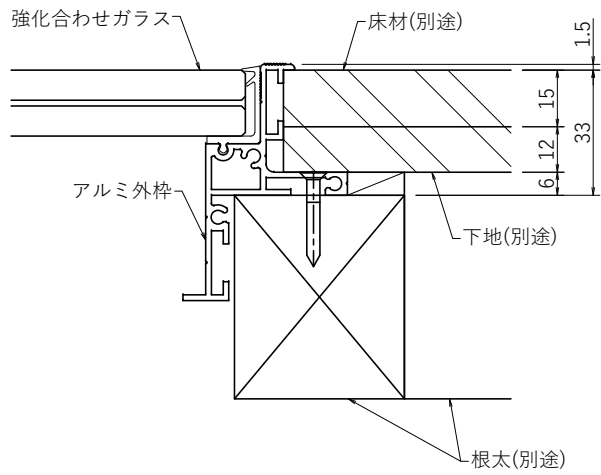
- ・アルミ外枠が確実に根太の上に載っていることを確認してください。
- ・根太のずれ、浮上がり等により根太とアルミ外枠の間に隙間が出来てしまう場合は、ライナー(別途)で根太の上端を水平にしてください。



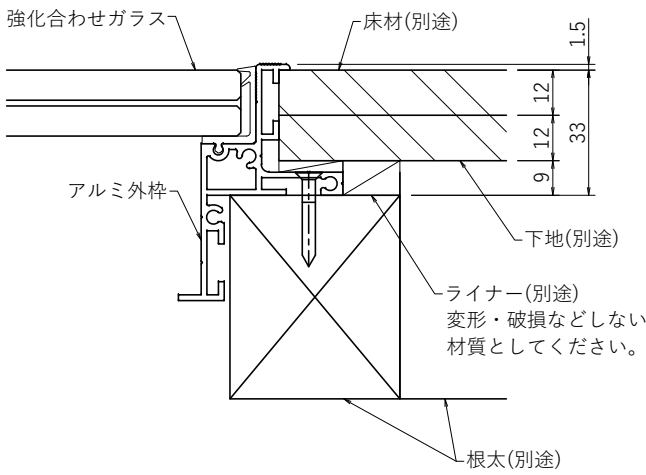
3-4 床貼り(木造の場合)

木造床仕上げの施工例 ※下の図は施工例の一部ですので、床仕上げ材・床厚などを考慮のうえ施工してください。

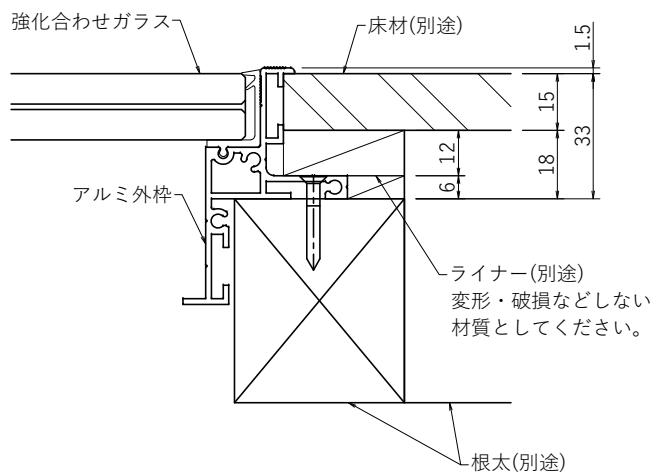
床材15mm+下地12mmの場合



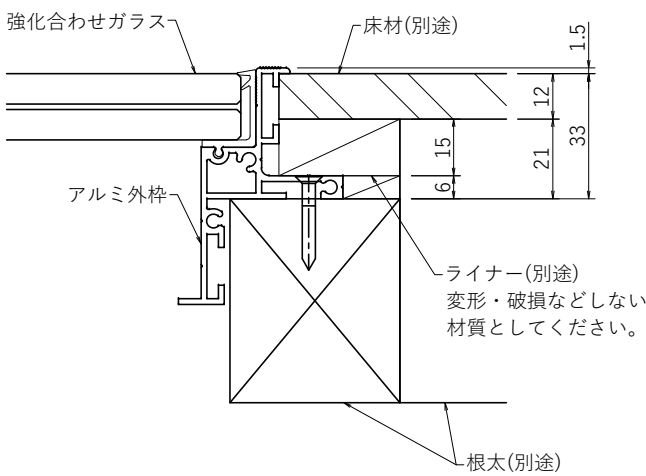
床材12mm+下地12mmの場合



床材15mmの場合



床材12mmの場合



4-1 下地の製作(RC造・鉄骨造の場合)

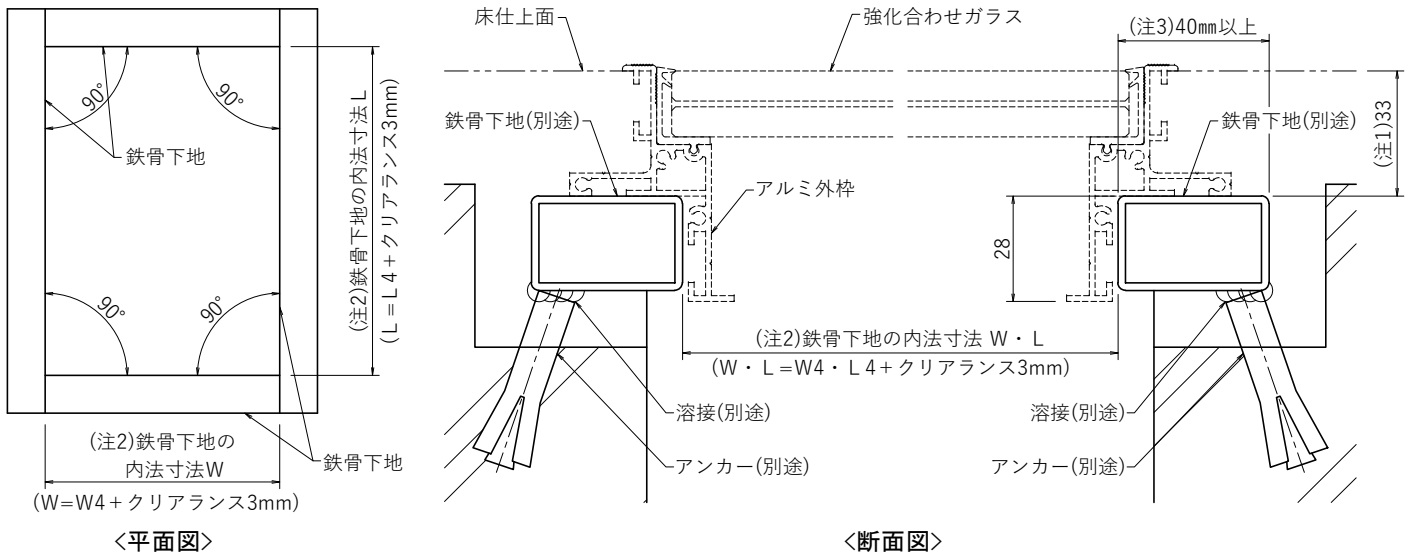
- ・マリムユニット規格サイズ寸法表<表1>を参照し、下図のように鉄骨下地を製作します。
- ・マリムユニットの下地材に、腐り・ねじれ・損傷などがある場合は、製品の破損・落下のおそれがありますので使用しないでください。

- (注1)アルミ外枠を載せる鉄骨下地の上端は、床仕上げ面から33mm下げてください。
(注2)アルミ外枠を載せる鉄骨下地の内法寸法(W・L)は、<表1>のW4及びL4の寸法より1mm～3mmのクリアランスを確保してください。
クリアランスを3mm確保した場合の根太の内法寸法(W・L)は、<表2>の寸法を参考にしてください。
(注3)アルミ外枠を載せる鉄骨下地の巾は、40mm以上確保し使用してください。
(注4)アルミ外枠を載せる鉄骨下地は、倒壊・落下のないよう十分強度のある高さ・巾を確保し、確実に緊結してください。

<表2> (単位：mm)

品番	W	L
MU-4545	440	440
MU-6060	590	590

根太の内法寸法表(クリアランス3mm)

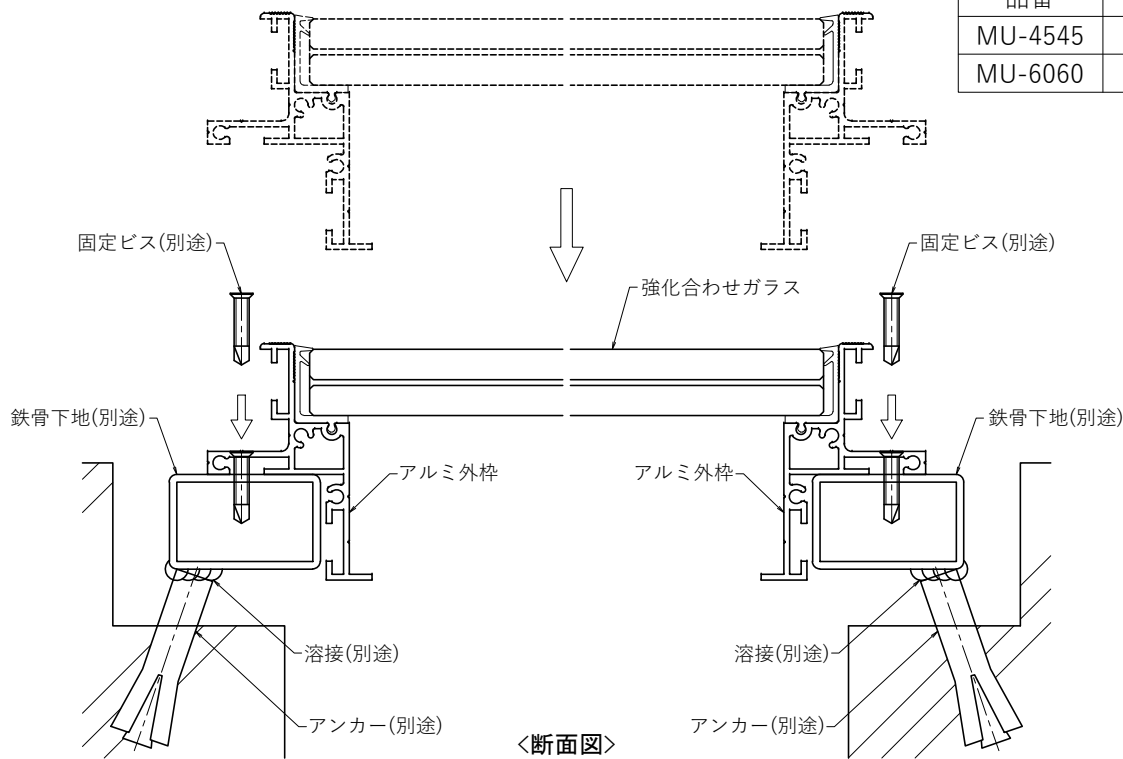


4-2 マリムユニットの固定(RC造・鉄骨造の場合)

- ・マリムユニットを下図のように、鉄骨下地に水平に設置します。
※設置する際に、無理に力を加えると破損の原因になりますのでご注意ください。
- ・マリムユニットにずれ・浮き上がりなどがないことを確認し固定位置を決定してください。
また、確実に根太の上に乗っており、水平であることを確認してください。
※設置位置が正確でないと破損・落下の恐れがありますので注意してください。
- ・アルミ外枠と根太とを固定ビス(別途)で固定します。
※ねじの使用本数は<表3>をご参照ください。
- ・固定ビス(別途)の本数をすべて使用し、アルミ外枠を固定してください。
※強化合わせガラスとアルミ外枠は分解しないでください。

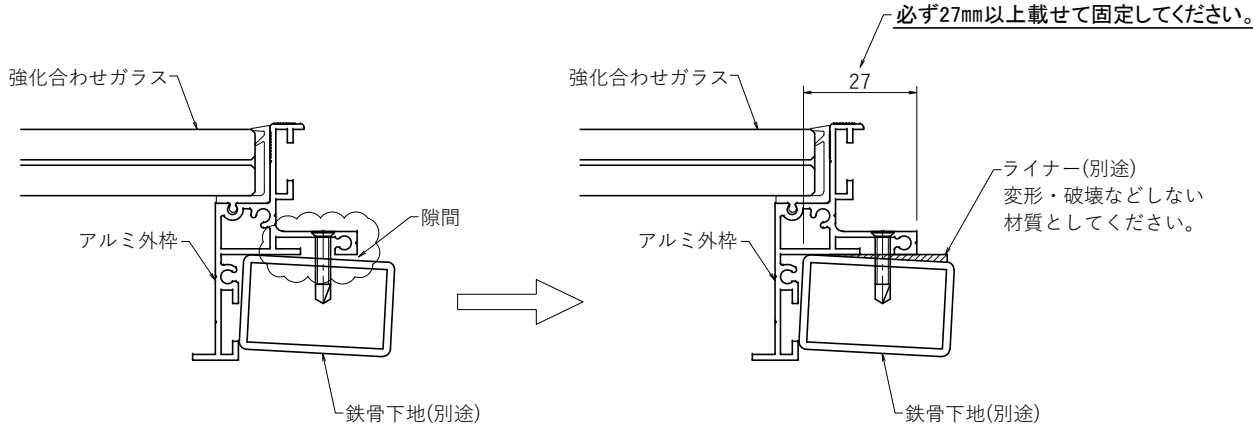
<表3>

品番	固定ビス
MU-4545	12本
MU-6060	12本



4-3 マリムユニット固定後の確認事項(RC造・鉄骨造の場合)

- ・アルミ外枠が確実に鉄骨下地の上に載っていることを確認してください。
- ・鉄骨下地のずれ、浮上がり等により鉄骨下地とアルミ外枠の間に隙間が出来てしまう場合は、ライナー(別途)で鉄骨下地の上端を水平にしてください。



4-4 床貼り(RC造・鉄骨造の場合)

RC造の床仕上げの施工例 ※下図は施工例の一部ですので、床仕上げ材・床厚などを考慮のうえ施工してください。

- ◎鉄骨下地 床材直貼りなど均し材を引く場合
床材直貼りの場合や、その他下図のように均し材を全体に引く場合は、マリムユニットのガラスとアルミ外枠の間にゴミが入らないように、またマリムユニットへの傷などを防止するために養生シートを敷いてください。

